これさえやっていれば！

チェックリスト

この紙をA3で印刷して壁に貼っておいて
チェックしていくと良いです。
誰がやったか記名するのもよし。

□ 感染患者の入院調整依頼（対応日：　/　　対応者：　　）

- □ 後で保健所に患者と家族の電話番号を聞かれるので用意も
- □ 入院先への診療情報提供書、条件票などはいつでも出せるように作成しておく
- □ ワクチン接種からどれくらい経っているかの情報も収集

□ 感染患者の発生届提出（対応日：　/　　対応者：　　）

□ リスク者の洗い出し（対応日：　/　　対応者：　　）

- □ 患者：両隣２つ先まで、背面と左右斜め後ろ、向かいと左右斜め前
- □ 職員：穿刺、回収、受け持ち、介助
- □ 感染患者のレントゲンやエコーを実施した職員

□ 個々のリスク評価（当院医師が暫定で行い、文書で保健所に提出）（対応日：　/　　対応者：　　）

例）感染患者のマスクの材質、感染患者はマスクを外して会話したか、
感染患者は手指消毒ができていたか、接触職員は感染患者の私物を持ったか、
接触した職員は感染患者の身体介助をしたか　などを記す

□ リスク者のPCR実施日時設定（対応日：　/　　対応者：　　）

- □ いつ誰にPCRをするか決める（まず１回目だけでも）
- □ 当該患者、職員に電話連絡

□ 通院送迎の調整検討（対応日：　/　　対応者：　　）

- □ リスク患者の送迎手段検討

※ 原則自力で来て帰る、ヘルパーへの連絡も自分でしてもらう

別紙２

接触者調査票

医療機関名：

陽性者氏名：

	氏名	フリガナ	性別	生年月日	職業	所属部署	郵便番号	居住地住所	連絡先	11/11以降の患者との接触状況（接触日、接触場所、接触時間、距離、マスクの有無(有の場合はその材質)）	リスク分類	以後の勤務	検体採取日	検査結果	ワクチン接種（1回目）	ワクチン接種（1回目）
例	札幌　太郎	ｻｯﾎﾟﾛ　ﾀﾛｳ	男	S43.3.4	介護士	２F担当	062-0000	北区北1条西2丁目1-2	747-5684	11/11 、 患者居室内 、 10～11時 、 １mの距離で10分間会話・口腔ケア・排泄介助 、 マスク（不織布）あり・	中リスク	自宅療養	11月7日	抗原検査陰性	4月8日	5月6日
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																
29																
30																
31																
32																
33																
34																
35																
36																
37																
38																
39																
40																
41																
42																
43																
44																

迅速リスク評価記録表

（日　付）令和　　年　　月　　日
（患者名）
（患者ID）

■透析室内

＜感染経路＞

- ☐ 飛沫感染
- ☐ 接触感染
- ☐ 空気感染

＜感染対策＞

- ☐ マスク有無
- ☐ マスクはずしての会話
- ☐ 手指消毒
- ☐ 会話量（大・中・小）
- ☐ ＰＰＥの装着
- ☐ 食事
- ☐
- ☐
- ☐

■透析室外

＜一緒だった場所＞

- ☐ 更衣室
- ☐ 待合室
- ☐ 食堂
- ☐ 病院の送迎車
- ☐
- ☐

※各項目については、状況に応じて適宜追加して使用する

■ リスク判定表～医療従事者の曝露リスク評価と対応表～

・曝露リスクの評価は、①患者のマスク着用の有無、②医療従事者のPPE着用の有無、③医療行為の種類が重要となる
・下表を参考として評価を行い、曝露リスクが「高リスク」の場合は濃厚接触者となるため、陽性患者との最終接触日から14日間は就業が制限される
・濃厚接触者となった職員を健康観察期間中に勤務させる場合は、①無症状、②ワクチン接種２回済、③毎日PCR検査で陰性を確認（やむを得ない場合は抗原検査で陰性を確認）する
・曝露リスクが「低リスク」の場合は、無症状でもPCR検査にて陰性が確認されるまで就業を自粛することが望ましい
・「低リスク」以上の接触があった場合は、陽性患者との最終接触日から14日間は健康観察を実施し、症状が出現した場合はPCR検査の調整をする
・ブレイクスルー感染も考えられることから、少しでも接触があった場合は、スクリーニング検査の対象とするか検討する
・下表「接触等の状況」に複数該当する場合には、曝露リスクがより高い方で評価すること

接触等の状況	患者のマスク ※マスクの材質や着用方法を考慮する	接触時間	距離	医療従事者のPPE							接触後の手指衛生	
				・なし	・ｻｰｼﾞｶﾙﾏｽｸ	・ｻｰｼﾞｶﾙﾏｽｸ ・目の防護	・ｻｰｼﾞｶﾙﾏｽｸ ・目の防護 ・手袋	・ｻｰｼﾞｶﾙﾏｽｸ ・目の防護 ・ガウン	・ｻｰｼﾞｶﾙﾏｽｸ ・目の防護 ・ガウン ・手袋	・N95マスク ・目の防護 ・ガウン ・手袋	なし	あり
患者と接触あり	あり	15分未満	1m以内	高	低　or　なし	なし	なし	なし	なし	なし	－	－
マスクをしていない患者と接触あり	なし	15分未満	1m以内	高	低	低　or　なし	低　or　なし	低　or　なし	なし	なし	－	－
患者と長時間の接触あり	あり	15分以上	1m以内	高	低	低	低	低	低　or　なし	低　or　なし	－	－
マスクをしていない患者と長時間の接触あり	なし	15分以上	1m以内	高	高	低	低	低	低　or　なし	低　or　なし	－	－
患者と広範囲の身体接触あり	－	－	1m以内	高	高	高	高	高	低　or　なし	低　or　なし	－	－
エアロゾル発生処置あり	－	－	1m以内	高	高	高	高	高	高	低	－	－
患者の分泌物・排泄物に接触あり	－	－	－	※接触後の手指衛生による			低　or　なし	※接触後の手指衛生による	低　or　なし	低　or　なし	高	なし
患者と限局した身体接触あり(診察、採血、血圧測定等)	－	－	－	※接触後の手指衛生による			なし	※接触後の手指衛生による	なし	なし	低　or　なし	なし

※広範囲の身体接触とは：体位変換、リハビリ、車イス乗降介助などに伴う身体的接触
※エアロゾル発生処置とは：気管挿管・抜管、気道吸引、NPPV装着、気管切開、心肺蘇生、用手換気、気管支鏡検査、ネブライザー療法、誘発採痰など
（耳鼻咽喉科での薬剤投与によるネブライザーは除外）

【参考資料】 新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領（2021年11月29日版）
https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2559-cfeir/10800-covid19-02.html
一般社団法人日本環境感染学会「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第4版」
http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=418
新型コロナウイルス感染症対策に従事する医療関係者である濃厚接触者に対する外出自粛要請への対応について
https://www.mhlw.go.jp/content/000819036.pdf

リスク評価については、施設の換気状況や患者発生状況等も考慮する必要があることから、その点を十分留意すること